

13: 成人 T 細胞白血病リンパ腫(ATL)

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
石田 高司	名古屋市立大学病院	血液・腫瘍内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科
鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
田野崎 隆二	国立がん研究センター 中央病院	輸血療法科
東梅 友美	ミシガン大学	
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院がん治療センター	血液内科
菱澤 方勝	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
福島 卓也	琉球大学医学部保健学科	病態検査学講座血液免疫検査学分野
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
鶴池 直邦	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
崔 日承	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
中野 伸亮	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
町田 真一郎	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
澤山 靖	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
多田 耕平	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
井上 明威	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
今田 和典	小倉記念病院	血液内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
藤 重夫	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科

2. 承認研究の進捗状況(2014 年 1 月-12 月 ※JSHCT2015 を含む)

13-1	「ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討」 PI: 石田高司
学会発表:	済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
13-2	「成人 T 細胞性白血病／リンパ腫に対する臍帯血移植の後方視的検討」 PI: 加藤光次
学会発表:	済(WG 研究業績一覧参照)
論文業績:	Kato K, Choi I, Wake A, Uike N, Taniguchi S, Moriuchi Y, Miyazaki Y, Nakamae H, Oku E, Murata M, Eto T, Akashi K, Sakamaki H, Kato K, Suzuki R, Yamanaka T, Utsunomiya A.

Treatment of patients with adult T cell leukemia/lymphoma with cord blood transplantation: a Japanese nationwide retrospective survey. <i>Biol Blood Marrow Transplant.</i> 2014;20(12):1968-74.	
13-3	「ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討、GVHD の意義について」 PI: 石田高司
学会発表: 論文業績: 済 (WG 研究業績一覧参照)	
13-4	「成人 T 細胞性白血病／リンパ腫の同種移植後再発に対する治療およびその予後に関する検討」 PI: 加藤光次
学会発表: 済 (WG 研究業績一覧参照) 論文業績:	
13-5	「ATL に対する同種造血幹細胞移植における各種リスクスコアの有用性の検討」 PI: 吉満誠
学会発表: Yoshimitsu M et al. 2015 BMT Tandem Meetings (Feb 11-15, 2015), San Diego, USA Yoshimitsu M et al. 第 37 回日本造血細胞移植学会総会 (平成 27 年 3 月 5 日-7 日)、神戸国際会議場 論文業績:	
13-6	「ATL に対する血縁者間同種移植における移植タイミングと移植成績に関する検討」 PI: 藤重夫
学会発表: 論文業績:	
13-8	「再発期 ATL に対する同種移植の成績に関する検討」 PI: 藤原弘
学会発表: 論文業績:	

3. 会議開催記録 (2014 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2014/1/12	国立がん研究センター 中央病院 (第 9 回)	14 名の出席のもと、(1)移植後再発に対する治療およびその予後に関する検討、(2)染色体異常と移植後生存期間の検討、(3)移植における各種リスクスコアの有用性の検討、等についての議論を行った。
2014/8/23	東京大学医科学研究所 (第 10 回)	出席者 11 名、オブザーバー参加 2 名。(1)移植における各種リスクスコアの有用性の検討、(2)染色体異常が移植後の生存に及ぼす影響、(3)移植タイミングに関する後方視的研究の提案、等について議論を行った。

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2014 年 12 月末時点まで) (1534) 回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

4 年間で 10 回の ATL-WG 打ち合わせ会を実施した。論文発表は 3 編に留まったが、現在 4 研究テーマが論文投稿準備中である。ATL は症例数が少なく、大きなデータベースでの解析は限られている。しかしながら、100 例以下の研究者主導の研究テーマや二次調査を組み込んだテーマも多く残されており、今後取り上げていきたい。次年度から新しい WG 責任者に交代するので、さらなる ATL-WG の活性化に期待したい。
